

スズムシの飼い方

スズムシを飼うための入れ物は、金魚鉢やプラスチックの容器などを利用します。底には土と砂を半々に混ぜ、鉄板で焼いたり、ひなたで干したりして熱消毒したものを敷きます。スズムシは昼間暗い所に隠れているので、かわらや石、木片を入れて、隠れ場所をつくってやります。これらは、スズムシが脱皮をするとき安心して柔らかい体を伸ばす足場ともなります。

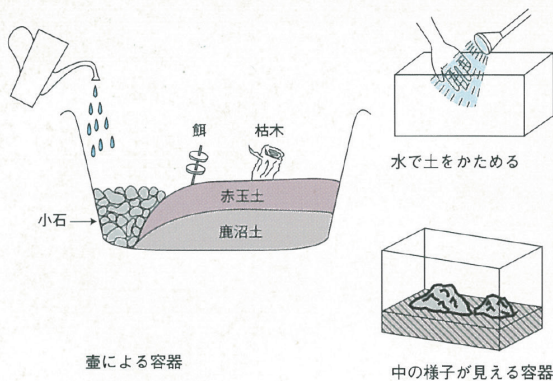
キュウリ、ナス、リンゴなど、餌は、カビが生えないように、串にさし、直接土に触れないようにします。煮干しやけずり節など動物質の餌も水に付け柔らかくして与えます。これが不足すると共食いをすることがあるので注意しましょう。食べ残しの餌は、カビや雑菌をふやし、病気の元になります。毎日、餌の残りは取り除いて、新しい餌に取り換え、容

器の中は清潔さを保ちましょう。土が乾きすぎないようにときどき水をやりませう。虫や餌には直接かけないようにしましょう。

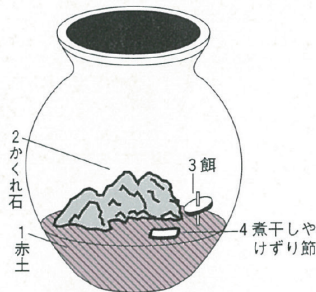
卵を孵化させるには

メスは、土の中に卵を産み終えると死にます。この死骸と土の表面のゴミやカビを取り除き、水を充分含ませた木炭を入れて、新聞紙やダンボール紙でふたをします。押し入れなど暗いところに翌年の春まで置いておきます。翌年の四月中旬、容器を取り出し、ふたを布か金網にかえてときどき霧をかけたかたりしていると、五〜六月には幼虫がかえります。生まれたばかりの幼虫には、餌を細かくして与えるといいでしょう。数が増えて容器が狭い場合、経木を土に差し、脱皮の足場を増やしてやります。

水をかけるときは、小石のところからかけます。



壺による容器



壺の場合 音の反響がよく、声がるくなる。



絶対に手でつかまえないこと
(翅をいためない為)